

CORONA

コロナウィンドエアコン (冷暖房兼用タイプ) 標準取付枠

据付説明書

冷媒 R32



ウィンドエアコンにはGWP (地球温暖化係数) が675のフロン類 (R32) が封入されています。地球温暖化防止のため、修理・廃棄等に当たってはフロン類の回収が必要です。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

■据え付ける前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく据え付けてください。
 ■ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

○表示の説明

	警告 取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。
	注意 取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う、または物的損害を生じるおそれがある」内容です。

○図記号の説明

	してはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

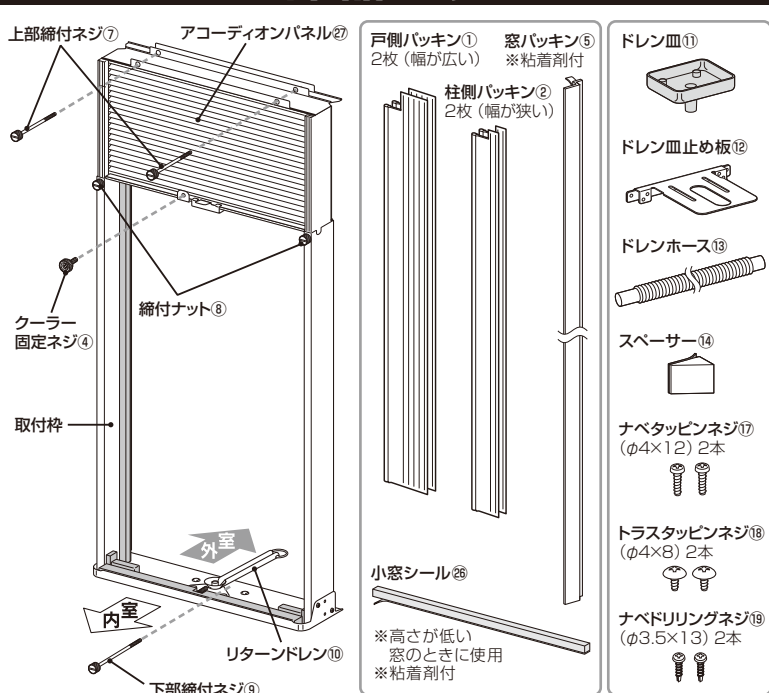
警告

- 据え付けは、強度が十分な場所を選定し、据付説明書に従って確実に
おこなう
強度が不足したり据え付けが不確実な場合は、水もれ、感電、火災、
エアコン落下によるけがの原因になります。また、騒音や振動が
他へ伝わり増大する原因になります。
- 取付枠の窓枠への固定、取付枠へのエアコンの固定は確実に
おこなう
エアコンの固定が不確実な場合は、エアコン落下によるけがの
原因になります。
- アース(接地)を確実に
おこなう
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続し
ないでください。アース(接地)が不確実な場合は、故障や漏電の
ときに感電の原因になります。
- 電気工事が必要な場合は、お買い上げの販売店または専門業者に
依頼する
配線などに不備があると漏電や火災の原因になります。
- 据付工事は必ず付属品および指定の部品を使用する
当社指定部品を使用しないと、水もれ、感電、火災、エアコン
落下によるけがの原因になります。
- 漏電しゃ断器を取り付ける
漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電、火災の原因にな
ります。お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。
- 据え付けは、必ず付属の「標準取付枠」を使って正しく
おこなう
取付枠や据え付け方法に不備があるとエアコン落下によるけが
の原因になります。

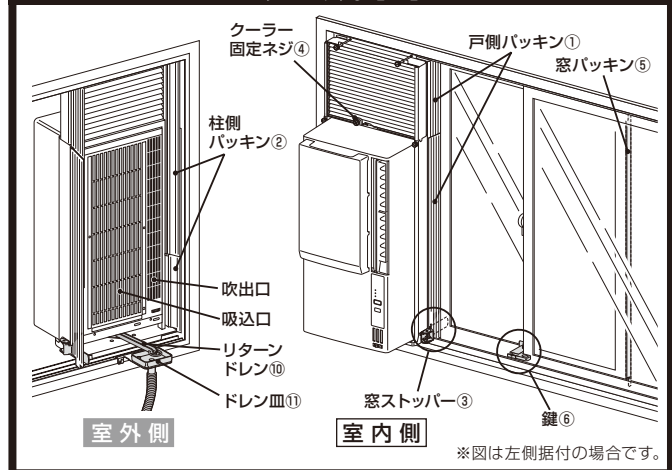
注意

- 可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは据え付け
しない
万一ガスがもれてエアコンの周囲にた
まると、発火の原因になることが
あります。
- パッキンで取付枠と窓を確実に
ふさぐ
不確実な場合は屋内に浸水し、
家財などを濡らす原因になる
ことがあります。
- ドレンホースは確実に排水する
ように設置する
不確実な場合は屋内に浸水し、
家財などを濡らす原因になる
ことがあります。

部品一覧



完成図



用意する主な工具

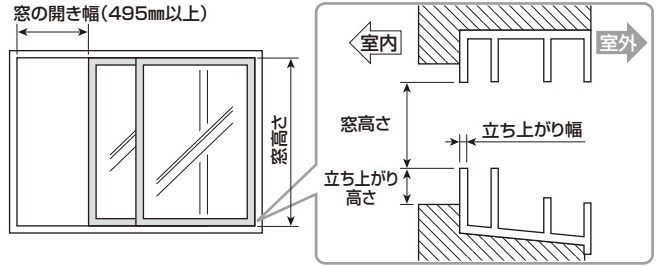
- 巻尺 (約2m)
 - コインまたはマイナスドライバー (幅広)
 - プラスドライバー
 - はさみ (カッター) または
-

<p>補助鍵セット</p> <p>鍵⑥</p> <p>皿ドリルネジ⑮ (φ3.5×10) 2本 ※アルミ製窓に使用</p> <p>皿木ネジ⑯ (φ3.5×16) 2本 ※木製窓に使用</p>	<p>補助金具⑳ 2本</p> <p>※窓の立ち上がりが高い時に使用</p>	<p>補助金具用ネジセット</p> <p>※窓の立ち上がりが高い時に使用</p> <p>ドリルネジ⑳ (φ3.5×13) 4本 ※アルミ製窓に使用</p> <p>丸木ネジ㉑ (φ4.1×20) 4本 ※木製窓に使用</p>	<p>窓ストッパーセット</p> <p>窓ストッパー③</p> <p>ナベタッピンネジ㉒ (φ4×8) 2本</p>	<p>粘着テープ㉓ 2枚</p> <p>※雨水が侵入しないように使用</p> <p>クーラー固定ネジ④ 1本</p> <p>上部締付ネジ⑦ 2本 (短い) 下部締付ネジ⑨ 1本 (長い)</p>	<p>バテ㉔</p> <p>※雨水が侵入しやすい所に使用</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------

据付け前の確認

据え付けられる窓の確認

- 窓への据え付けが可能かを判断するには、窓の種類と右図の窓の開き幅、窓高さ、立ち上がり高さを確認してください。
- 窓の種類がアルミ製の場合は立ち上がり高さによって補助金具②の取り付けが必要となります。
- 窓の開き幅は495mm以上（取付枠の幅と窓ストッパー③の可動範囲を考慮した幅）必要となります。
- 窓高さが1400~1900mmの場合は、標準取付枠（付属）に「テラス窓用取付枠」（別売）を取り付けることで据え付けできます。対応型式についてはお買い上げの販売店にご確認ください。
- 補助金具②を取り付ける場合は取り付け幅15mm以上必要となります。
- ネジによる据え付けによって、窓の立ち上がりに取り付けあとが残ることがあります。



据え付け可能な窓の条件

補助金具なしで据え付けできます

アルミ製

■立ち上がり高さ10mm以上、かつ幅7mm未満の場合

窓高さ 813~1400mm

取付枠 7mm未満

取付枠 7mm未満

取付枠 10mm以上

取付枠 10mm以上

- 立ち上がりより室内側に障害物がある場合は、据え付けできません。
- スチール製の窓の場合、補助金具②の取り付けには下穴加工（φ3.3~3.5）と市販のタッピンネジ（φ4×8）4本が必要となります。
- 窓枠がコンクリートの場合、補助金具②の取り付けには下穴加工（φ3.3~3.5）と市販のコンクリートビス（φ4×20）4本が必要となります。
- 取付枠を使用し確実に据え付けをおこなってください。据え付けが不確実な場合は室内に水もれし、家財などをぬらす原因となります。

補助金具の取り付けが必要です

アルミ製

■立ち上がり高さ10mm未満、または幅7mm以上の場合

窓高さ 843~1400mm

補助金具②

補助金具②

取付枠 15mm以上必要

取付枠 10mm未満

取付枠 7mm以上

取付枠 7mm以上

取付枠 10mm未満

取付枠 15mm以上必要

木製

■窓高さ843~1400mmの場合

スチール製

■窓高さ843~1400mmの場合

据え付け場所を選ぶ (取扱説明書の内容にくわえ、以下の内容を確認してください。)

- 冷温風吹出口前方に障害物がなく、部屋全体に冷温風がゆきわたる場所。
- 窓枠が強固で振動の伝わりにくい場所。
- 雨といの直下は避け、吹き降りなどにより窓から雨水が侵入しない場所。
- 室外側の風通しがよく、背面から出る冷温風がこもらない場所。
- 背面からの冷温風が隣家の窓に吹きつけたりせず、また騒音の伝わりにくい場所。

電気工事 水気のある場所あるいは湿気が多い場所で使用される場合は、感電事故を防ぐため、アース工事や漏電しゃ断器の取り付けが必要です。お買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。

注意

- 屋内の壁コンセントで2口以上になっても単独で使用し、100V15A以上のコンセントが確認してください。屋内配線(壁の中の配線)の電気容量が許容量を超え、火災や感電、電源プラグの発熱の原因になります。
- 電源プラグの改造や延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。

注意

■窓の右側、左側どちらにも据え付けができます。ただし、アルミ製窓の右側据付のとき、ガラス戸のとって部が立ち上がりより5mm以上(B寸法)とび出している場合やA寸法が6mm以下の場合、窓の戸締りができないことがあります。

ガラス戸のとって部

A (6mm以下)

B (5mm以上)

据え付けイメージ

据付手順の確認

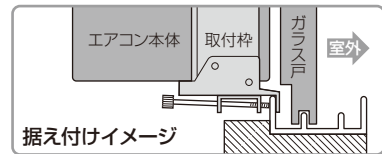
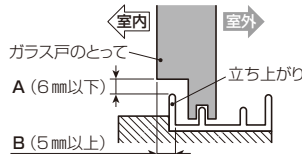
窓の種類	窓高さ	据付手順			補助金具
		参照ページ 6,7	参照ページ 3,4,5	参照ページ 8	
アルミ製窓 (立ち上がり高さ10mm以上、かつ幅7mm未満の場合)	813 ~ 888mm	B →	据付手順 →	工事の仕上げ	不要
	888~1400mm	→	据付手順 →	工事の仕上げ	
アルミ製窓 (立ち上がり高さ10mm未満、または幅7mm以上の場合) 木製窓、スチール製窓	843 ~ 918mm	A ① → B →	据付手順 →	工事の仕上げ	必要
	918~1400mm	A →	据付手順 →	工事の仕上げ	

据付手順

図は窓の左側据付として説明しています。



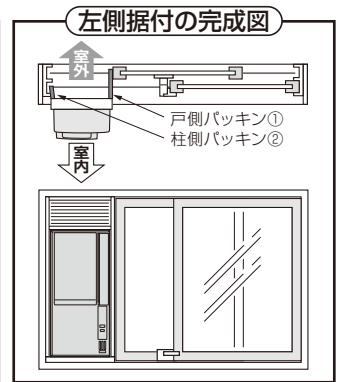
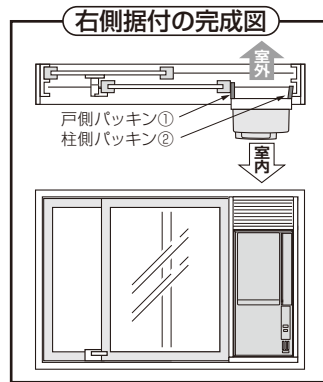
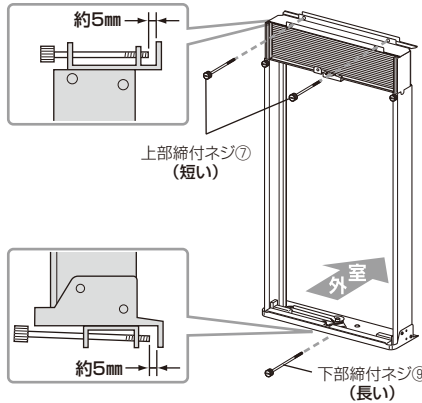
■窓の右側、左側どちらにも据え付けができます。ただし、アルミ製窓の右側据付のとき、ガラス戸のとって部が立ち上がりより5mm以上(B寸法)とび出している場合やA寸法が6mm以下の場合、窓の戸締りができないことがあります。



据え付けイメージ

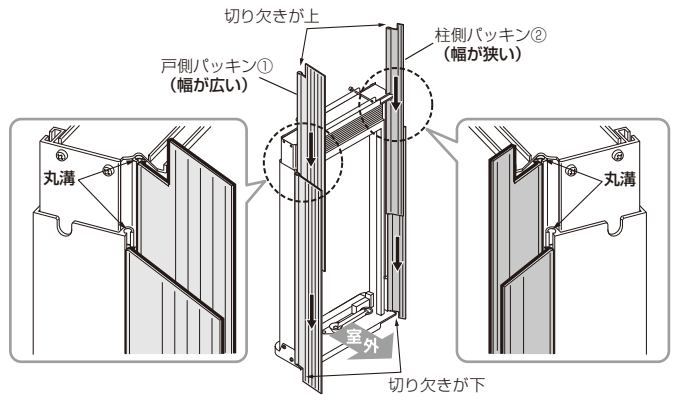
① 上部・下部締付ネジと戸側・柱側パッキンを取り付ける

1 上部締付ネジ⑦(2本)と下部締付ネジ⑨(1本)を取り付けます。図のように約5mmすきまを開けて取り付けてください。



2 右上の完成図のように、戸側に戸側パッキン①(2枚)(幅が広い)、柱側に柱側パッキン②(2枚)(幅が狭い)となるように取付枠の丸溝に沿って上から差し込みます。

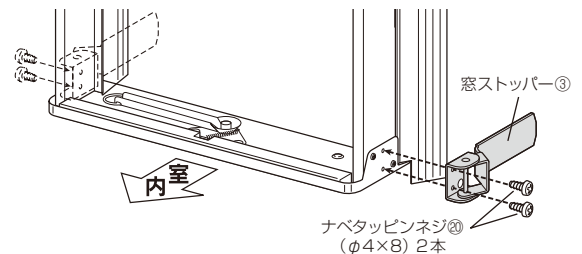
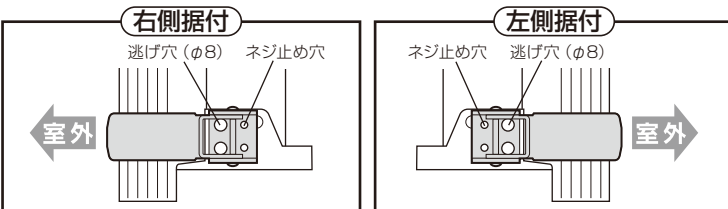
※上下に切り欠きができるように、差し込み方向に注意してください。
※右側据付の場合は、戸側パッキン①と柱側パッキン②を逆にしてください。



② 窓ストッパーを取り付ける

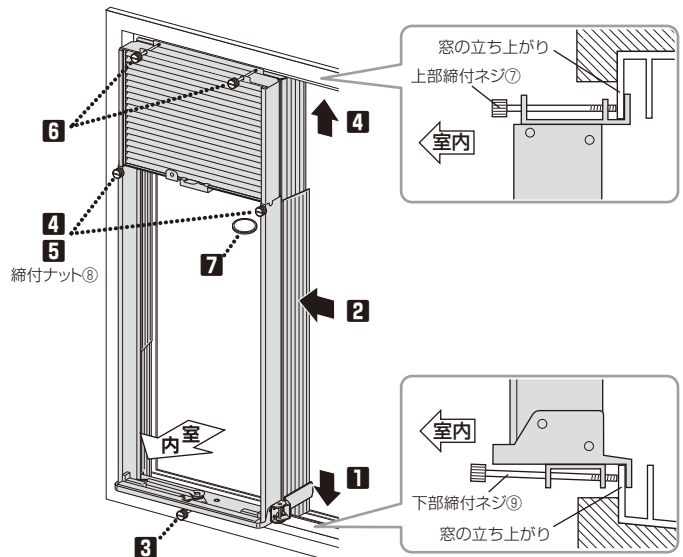
■ナベタッピンネジ⑳で、戸側の取付枠に窓ストッパー③を取り付けます。

※逃げ穴(φ8)が室外側にくるように取り付けてください。



③ 取付枠を据え付ける

- 1 取付枠下部の溝を窓の立ち上がり(または補助金具㉓)に差し込みます。
- 2 取付枠を柱側に寄せます。
- 3 下部締付ネジ⑨を締めて固定します。
- 4 締付ナット⑧を緩め、取付枠上部を引き上げ窓の立ち上がり(または補助金具㉓)に差し込みます。
- 5 締付ナット⑧を締めて固定します。
- 6 上部締付ネジ⑦を締めて固定します。
- 7 ③⑤⑥のネジ・ナット(5カ所)をコインやマイナスドライバーで増し締めをします。

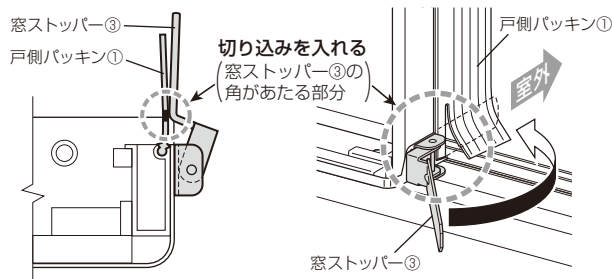


■ネジ・ナットは、必ずコインやマイナスドライバーを使用して増し締めをしてください。
■ネジによる据え付けによって、窓の立ち上がりに取り付けあとが残ることがあります。

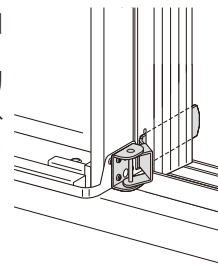
据付手順 (つづき)

④ 戸側パッキンに切り込みを入れる

1 窓ストッパー③を回して室外側に出し、戸側パッキン①に切り込みを入れる位置を決めます。はさみ(またはカッター)で下から切り込みます。



2 窓ストッパー③を回して室外側に出し、戸側パッキン①の切り込んだ部分を窓ストッパー③の外側にかぶせます。

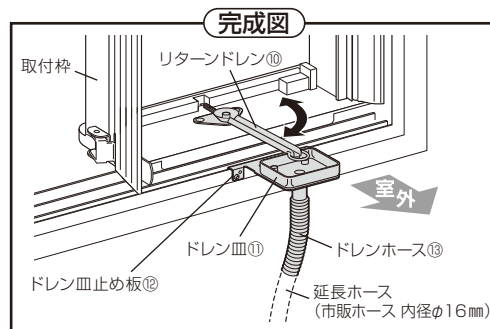
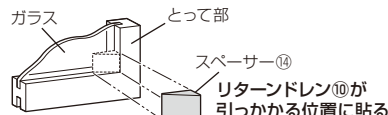


室外排水の場合を説明しています。室内排水の場合は取扱説明書をご覧ください。

⑤ ドレン工事をする

1 リターンドレン⑩を回転させて室外側に出し、ガラス戸に引っかかりせず、スムーズに窓が開閉するか確認します。

ガラス戸のガラスととって部の段差が大きく、リターンドレン⑩が引っかかる場合は、ガラス戸にスペーサー⑭を貼り付けます。

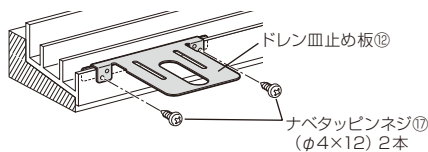
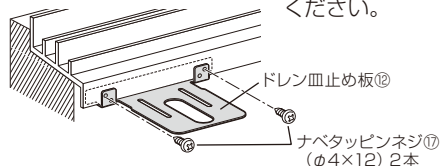


■雨戸の戸袋側への据え付け、シャッター式の雨戸への据え付けの場合には、リターンドレン⑩の自動回転動作ができません。この場合、戸締り時にはリターンドレン⑩は手で収納してください。

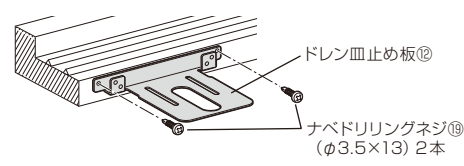
2 窓枠にドレン皿止め板⑫を取り付けます。

※完成図のようにドレン皿止め板⑫の上にドレン皿⑪が組み付きます。窓の開閉時、リターンドレン⑩がドレン皿⑪にあたらないように取り付けをおこなってください。

【水切りに取り付ける場合】 窓枠や立ち上がり高さにあわせて固定可能なネジ穴を使用してください。

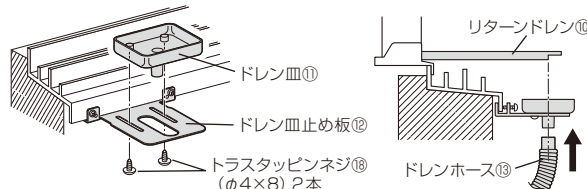


【直付けする場合】



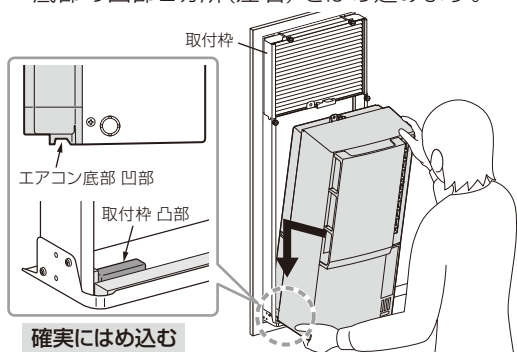
3 ドレン皿止め板⑫にドレン皿⑪を取り付け、ドレンホース⑬をドレン皿⑪に接続します。

※リターンドレン⑩の先端がドレン皿⑪の中心になるように取り付けます。
※ドレンホースを延長する場合は市販のビニールホース (内径φ16mm) を接続してください。

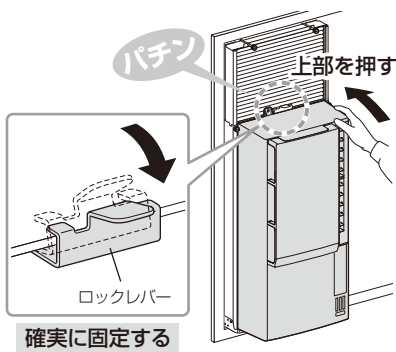


⑥ エアコンを取り付ける

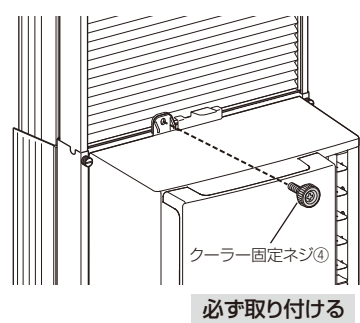
1 取付枠下部の凸部2カ所(左右)にエアコン底部の凹部2カ所(左右)をはめ込みます。



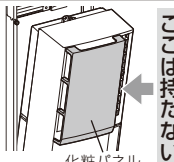
2 エアコンの上部を押して、仮固定します。



3 クーラー固定ネジ④で取付枠にエアコンを固定し、プラスドライバーで増し締めします。



■手をはさまないように注意してください。
■化粧パネルを持って持ち上げないでください。エアコンが落下することがあります。



■エアコン本体上部(背面側)のツメがロックレバーに確実に掛かっているか確かめてください。
■ロックレバーを上に出るとエアコンがはずれます。

据付手順 (つづき)

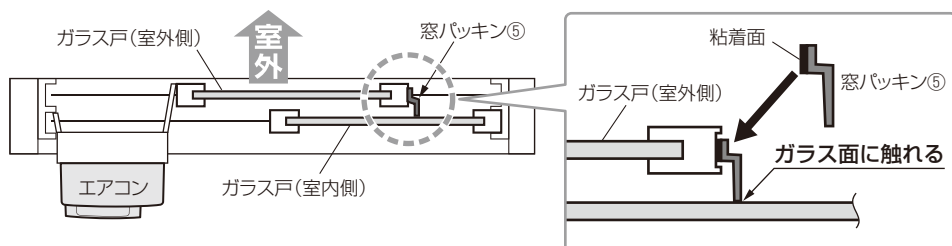
⑦ 窓パッキンをつける

※窓のすき間から外気や虫などが侵入するのを防止します。

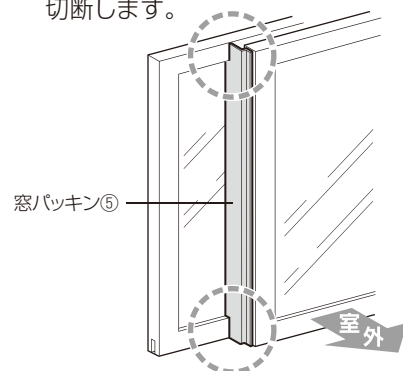
1 室外側のガラス戸に窓パッキン⑤を図のように貼り付けます。



- 貼付部分のほこりなどをよく拭き取ってから貼り付けてください。
- 貼付部分を強く押しつけて確実に貼り付けてください。



2 ガラス戸の形状、長さに合わせて切断します。



⑧ 鍵を付ける

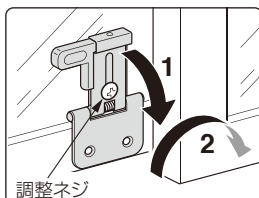
エアコン使用中の戸締りのため、鍵⑥を取り付けることをおすすめします。

1 窓ストッパー③をセットします。



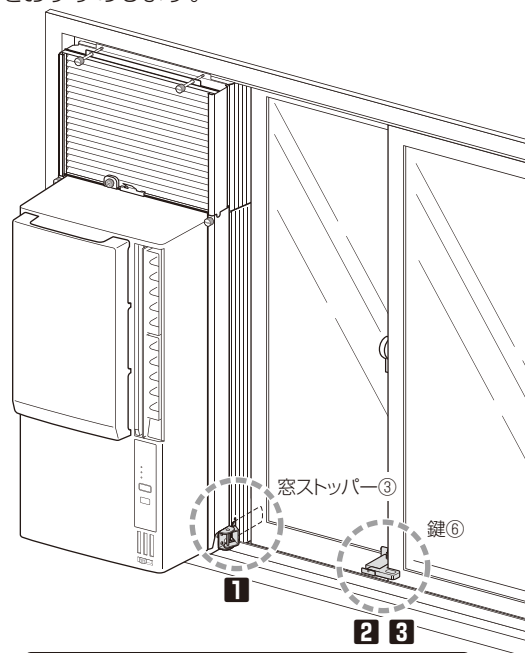
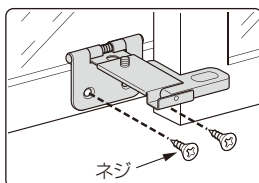
- 窓の種類によっては、ガラス戸と窓ストッパーのあたる部分が10mm以下の場合、窓を強く閉めると取付枠が変形し窓ストッパーが効かない場合がありますのでご注意ください。

2 鍵⑥の調整ネジをゆるめ、ガラス戸の厚さに合わせます。



3 鍵⑥をネジで取り付けます。

- [アルミ製窓の場合]…皿ドリルネジ⑮ (φ3.5×10) 2本
- [木製窓の場合]…皿木ネジ⑯ (φ3.5×16) 2本



- 防犯上、付属の鍵では戸締りが十分ではありません。お出かけのときなどは、必ず窓ストッパーを回して室内側に入れ、窓を閉めて窓の鍵をかけてください。
- ペアガラスなど窓の構造によってはガラスが破損するおそれがありますのでご注意ください。

お願い

窓の構造によって鍵が取り付けられない場合や、戸締りが不十分な場合には、市販の窓用鍵を利用して戸締りをしてください。

⑨ 仕上げをする

P.8の 工事の仕上げ へ

据付後の確認

■ 以上で据え付けは完了となります。以下の項目を再度確認してください。

- 各部品は所定のところに正しく取り付けられていますか。また、取付枠にガタツキはありませんか。各部のネジが確実に締まっているか確認してください。
- エアコンは、取付枠に確実に取り付けられていますか。また、エアコン固定用のクーラー固定ネジ④は確実に締まっていますか。
- 右側据付において戸側パッキン①がエアコンの室外側の吹出口をふさいでいませんか。戸側パッキン①は必ず窓に合わせて切断してください。
- 雨もりの原因となるすき間はありますか。すき間がある場合は、パテ②をすり込み、雨水が浸入しないように防水してください。
- 運転する際には、窓・あみ戸を必ず開けてください。
- 台風や暴風雨のとき、また外出するときなどはエアコンを停止し、窓を閉めてください。

■ 移設時や長期間使わないとき

- 移設時や長期間使わないときはエアコン底部にたまったドレン水を室外ドレン排水口または室内ドレン排水口から抜き取ってください。
- 長期間エアコンを使用しない場合(シーズンオフなど)はリターンドレン⑩の先端を取付枠下部の引っかけ部に引っかけてください。

■ お使いになる前に取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

室内排水の場合

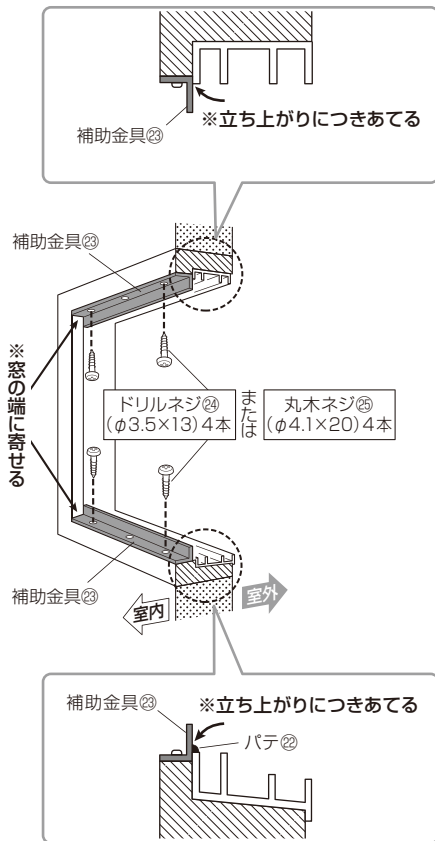
■ 室外側へ排水できない場合、室内側での排水処理ができます。排水手順については取扱説明書をご参照ください。

据え付け、および取付枠についてのご相談は、お買いあげの販売店にご依頼ください。

④ 据付窓の立ち上がりにネジ止めできない場合

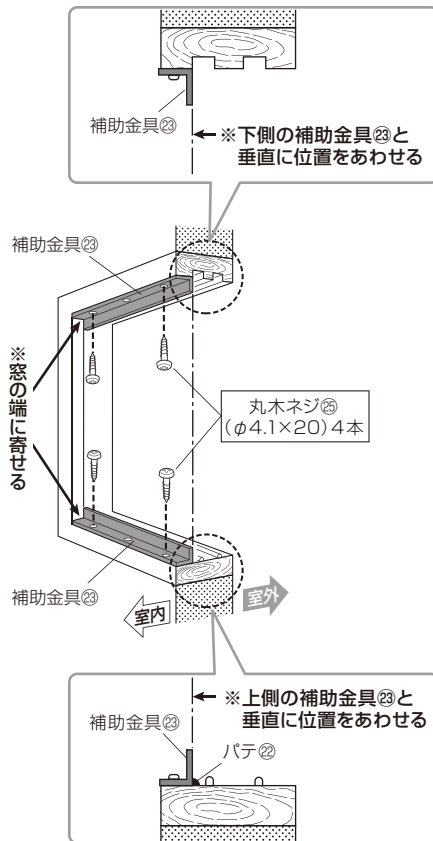
① 補助金具を取り付ける

【アルミ製窓の場合】



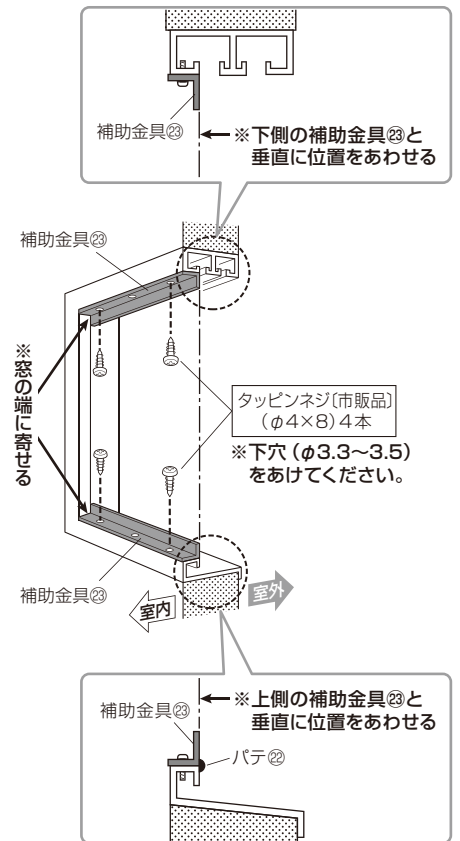
- 窓枠がコンクリートの場合、補助金具⑳の取り付けには下穴加工(φ3.3~3.5)と市販のコンクリートビス(φ4×20) 4本が必要となります。
- 窓の下側に取り付けした補助金具⑳と窓枠の間はパテ㉒をすり込み、雨水が浸入しないように防水してください。

【木製窓の場合】



- 補助金具⑳は窓の開閉ができる位置に取り付けてください。
- 窓の下側に取り付けした補助金具⑳と窓枠の間はパテ㉒をすり込み、雨水が浸入しないように防水してください。

【スチール製窓の場合】

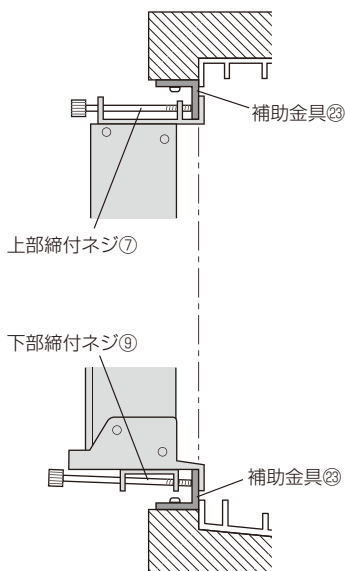


- 右側据付で戸締りできない場合は、左側据付にしてください。
- 窓の下側に取り付けした補助金具⑳と窓枠の間はパテ㉒をすり込み、雨水が浸入しないように防水してください。

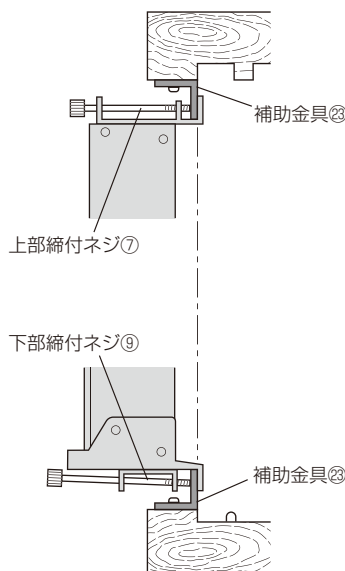
② 取付枠とエアコンを据え付ける

据え付け方は P.3の 据付手順 へ

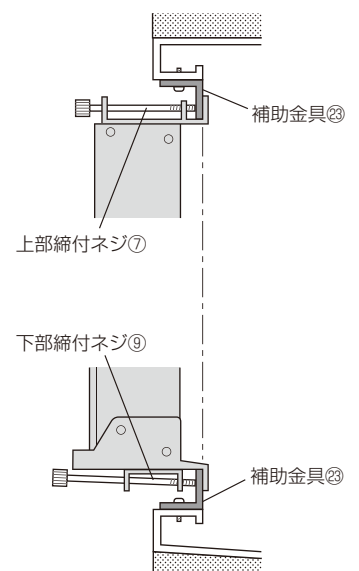
【アルミ製窓の場合】



【木製窓の場合】



【スチール製窓の場合】



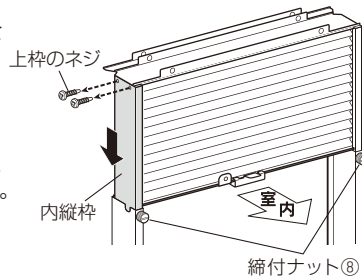
③ 据付窓の窓高さが低い場合

図はアルミ製窓を基本に説明しています。

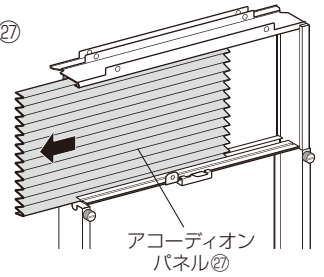
① アコーディオンパネルをはずす

- 1** 上枠のネジ2本をはずし、内縦枠を下へスライドさせます。

※取りはずしたネジは後で必要ですので、なくさないでください。
※締付ナット⑧ははずさないでください。内部の部品がはずれるおそれがあります。



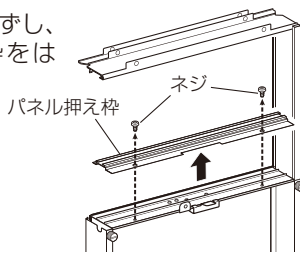
- 2** アコーディオンパネル⑦を横へスライドさせ、はずします。



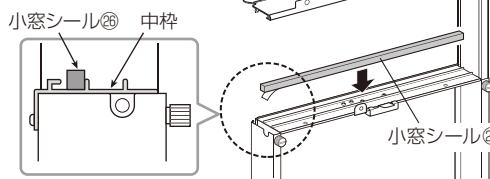
② 窓高さに合わせて作業する

[窓高さ813~816mm (アルミ製) の場合]

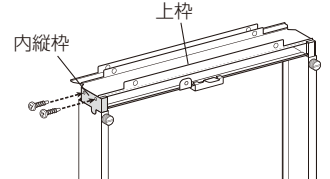
- 1** ネジ2本をはずし、パネル押え枠をはずします。



- 2** 小窓シール⑩を中枠へ貼り付けます。

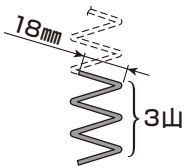


- 3** 内縦枠を引き上げて上枠にネジ止めします。

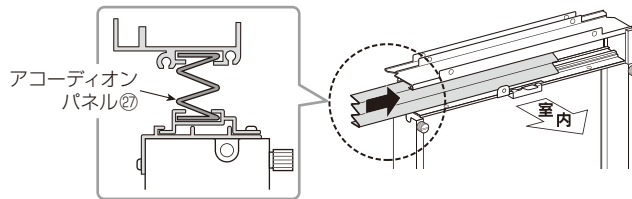


[窓高さ817~843mm (アルミ製) の場合]

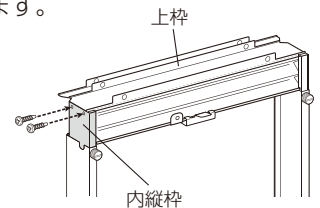
- 1** アコーディオンパネル⑦の下側3山分を切断します。



- 2** 切断したアコーディオンパネル⑦(3山)をもとどおり組み立てます。

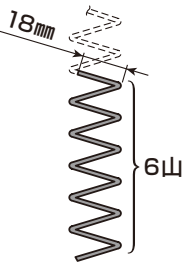


- 3** 内縦枠を引き上げて上枠にネジ止めします。

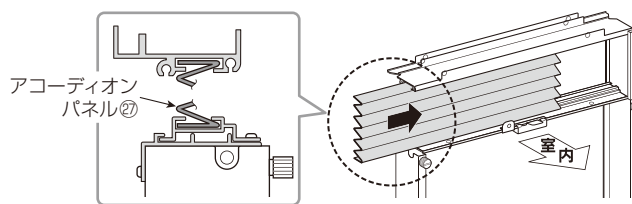


[窓高さ844~888mm (アルミ製) の場合]

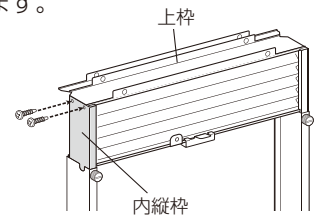
- 1** アコーディオンパネル⑦の下側6山分を切断します。



- 2** 切断したアコーディオンパネル⑦(6山)をもとどおり組み立てます。



- 3** 内縦枠を引き上げて上枠にネジ止めします。

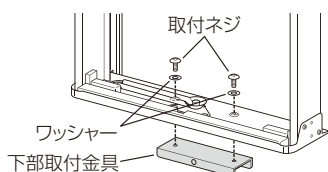


③ 取付枠とエアコンを据え付ける

据え付け方は P.3の 据付手順 へ

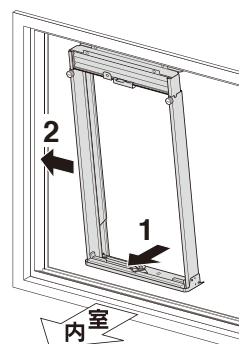
[窓高さ813~843mmで窓に下部取付金具があたり差し込みできない場合]

- 1** 取付ネジ2本をはずし、下部取付金具をはずします。

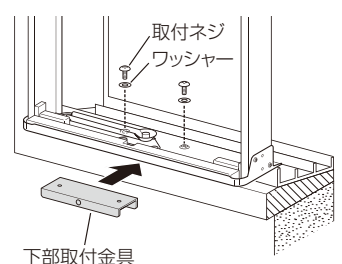


- 2** 取付枠を差し込み、柱側に寄せます。

取付枠上部を立ち上がりに差し込み、取付枠下部を室外側から室内側へ1の矢印方向に引き入れて、下側の立ち上がりにのせ、2の矢印方向に寄せます。



- 3** 下部取付金具をネジ止めします。



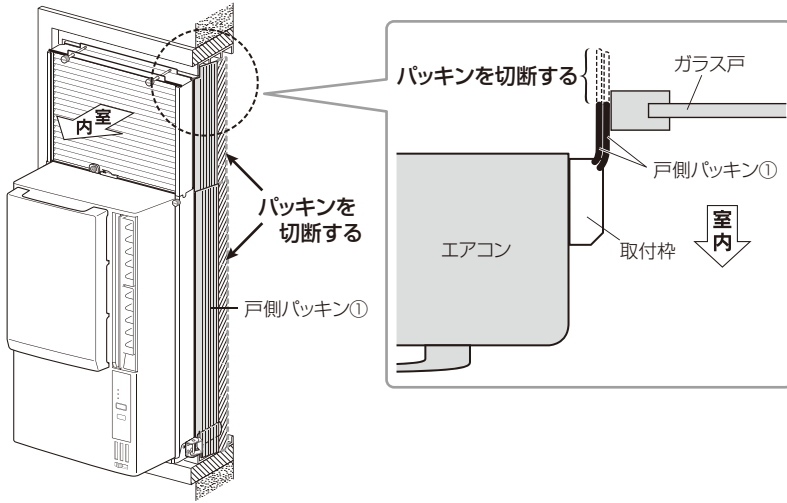
※下部取付金具と取付ネジ、ワッシャー(透明)は後で必要です。なくさないでください。

工事の仕上げ

戸側・柱側パッキンの曲がりぐせは、お湯につけることなどによりなおすことができます。

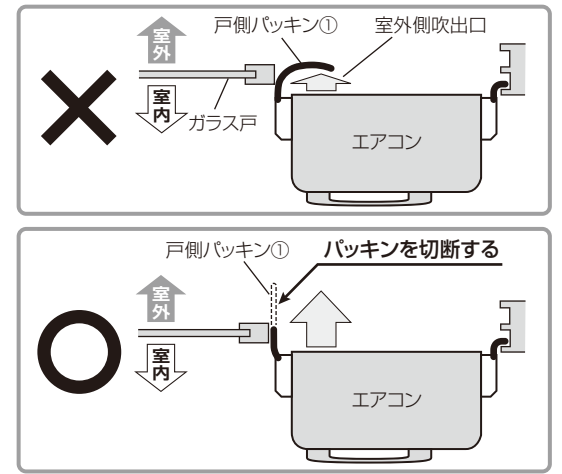
① 戸側パッキンを切断する

■ガラス戸よりはみ出した戸側パッキン①を溝に沿って切断します。



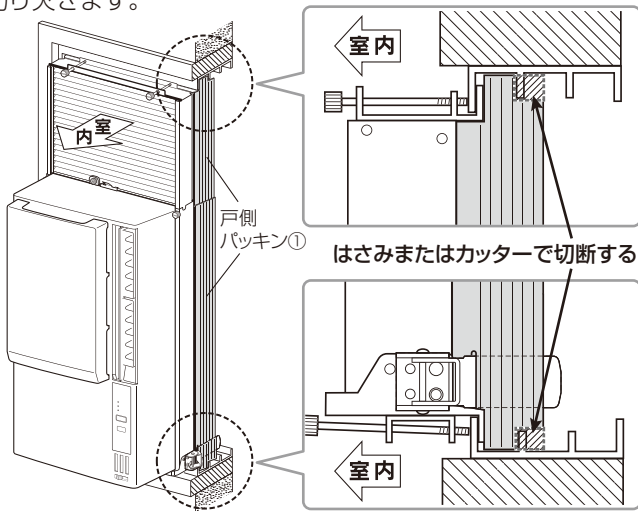
【右側据付の場合】

エアコンの吹出口をふさぐおそれがありますので、必ず切断してください。



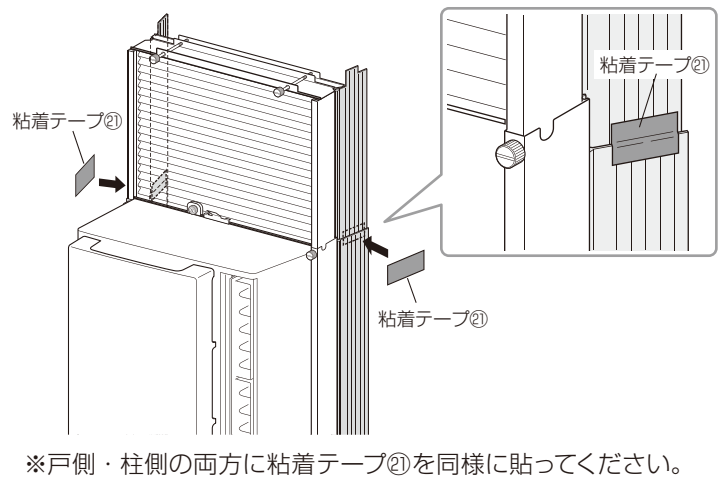
② 戸側パッキンを切り欠く

■戸側パッキン①を窓の形状に合わせて、はさみ(カッター)で切り欠きます。



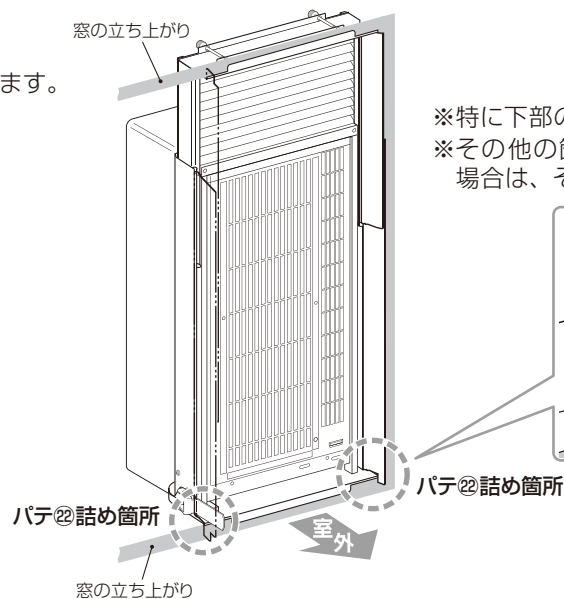
③ 粘着テープを貼る

■粘着テープ②をパッキンの合わせ部に外側から貼ります。
※雨水の浸入を防止します。



④ パテを詰める

■窓と取付枠のすき間にパテ②を詰めます。
※雨水の侵入を防止します。



※特に下部のパテ詰めはしっかりおこなってください。
※その他の箇所で取付枠と窓との間にすき間がある場合は、その部分にもパテ②を詰めてください。

⑤ 据付後の確認をする

P.5の 据付後の確認へ